

じびか歳時記

もりやま耳鼻咽喉科

2019年ガンも花粉症も卒業しよう号 (vol.30)

免疫寛容（かんよう）について

まず、なぜ花粉症になるか、という話をします。機序を詳しく説明すると大変難しくなりますので、簡単に述べます。生まれながらにして花粉症の人は少なく、最初はだれでも花粉を吸ってもアレルギー性鼻炎にはなりません。ところが、免疫系のいろいろな要素が原因で、一旦この花粉を身体にとって有害な異物と認識してしまうと、鼻の中が過敏な状態（感作）となります。有害物質ですから、除去しようとして、くしゃみや鼻汁が出ます。そして、再び体内に入れないように、鼻閉が生じます。つらい花粉症の出来上がりです。

治療法としては、くしゃみ、鼻汁、鼻閉を起こさせるヒスタミンという原因物質の作用を止める抗ヒスタミン薬が一般的です。ところが副作用として眠気、口渇などがあり、妊婦や授乳婦には使えません。そこで、花粉を有害な異物と判断しないように体の免疫を花粉症の発症する前の状態に戻すような方法が考えられるようになりました。すなわち、スギ花粉は有害な異物ではないと免疫系に働きかけ、免疫をすり抜けるようにする「免疫寛容」をつくる免疫療法です。

免疫寛容を作るには、スギやダニのエキスを長期間継続的に体内に取り込ませる必要があります。その方法は、2種類あって、皮下に注射する皮下免疫療法と舌下にエキス錠を置く舌下免疫療法があります。皮下免疫療法は以前からありましたが、皮下注射なのでアナフラキシーショックなどの副作用がでる可能性があり、あまり普及しませんでした。一方、舌下免疫療法は4年ほど前から保険適応になり、安全性が高いため一般外来でも容易に処方できるようになりました。処方できる医師は資格が必要で、小院内でも行っています。

ところで、話は変わりますが、最近芸能人の舌癌やスポーツ選手の白血病などの話題で、世間がにぎわっています。我々の体の細胞はすべて細胞分裂を繰り返しており、常に新しい細胞で成り立っています。この細胞分裂を行う際、たまに突然変異をきたしてガン細胞が生じることがあります。でも、免疫系でこの初期のガン細胞を有害な異物とみなして、排除してくれます。ところが、ガン細胞もいろいろと知恵を絞って、免疫系に有害な異物とみなさないように指令を送ることができる場合もあります。すなわち、「免疫寛容」を作ってしまうのです。ちょうど花粉症の治療で免疫寛容を作るのとは逆で、ガン細胞が免疫寛容を作ってしまうと、体内でどんどん成長してしまい、悪性腫瘍や白血病などを発症してしまいます。

アレルギー性鼻炎にとっては免疫寛容をつくる舌下免疫療法が大切ですが、ガンの場合はその真逆で、免疫寛容を抑制し、ガンを有害な異物と再認識させるというガン免疫療法が最新のトピックとなっています。

18歳にして白血病を発症した水泳選手の池江さんは、3月6日のツイッターで「思ったより、数十倍、数百倍、数千倍 しんどいです。三日間以上ご飯も食べれてない日が続いています。でも負けたくない」と述べています。きっと激しい嘔吐や全身倦怠感、脱毛などに苦しんでいるのでしょう。免疫を最大限に活かして、悪性細胞の克服を願うばかりです。

思い出の卒業式

私は、自分の卒業式では1度も泣いたことがありませんでした。周りの友達が涙を流すのを見て、泣こうと焦っていたことを覚えています。しかし、母になり子供の卒業式では、涙をこらえられず大号泣でした。この差は何でしょうか・・・。

去年の息子の卒園式。子供の成長が嬉しく、私と旦那は大号泣でした。一方息子をみていると卒業証書をもった後から爆睡……。壇上で歌を歌う時も寝ながら口だけ動かし両隣りにもたれかかってました。もう泣けません(笑) 両隣のお母さんに謝り、苦笑いするしかない卒園式でした。息子は「いい卒園式だったね。」と言っていました(笑)

私は、中学校の時の卒業式が一番思い出に残っています。クラスみんな本当に仲が良くって卒業式が終わってから、教室で先生も一緒に肩を組んで、みんなで「贈る言葉」を歌い、涙の卒業式になりました。今でも、この曲を聴くと胸が熱くなります♡!

高校の卒業式、大好きな担任の先生を前にひとりずつお礼の言葉を言う時に今までにないくらい号泣してしまい何を言ってるのか分からない私に後ろからハンカチを投げてきた母。クラスみんなは大爆笑だったのを覚えています。

卒業式であまり号泣した記憶はありません。教室にだらだらと残るわけでもなく、さっと帰ってしまうような感じです。母から聞いた話で幼稚園の卒園式、式が終わってみんなで食事をしたり写真を撮ったりするような時間があつたらしいのですが、私が帰りたがってすぐ帰宅したそうです。終わったー!という解放感でいっぱいだったのかもしれませんが...

どの卒業式の時でも、私が一番心配していたのは、卒業証書をもらう時に名前を呼ばれ、返事をすることでした。シーンとした体育館で大きすぎず、小さすぎず、「はい」とタイミングよく返事をすることに一番集中していたように思います。

卒業式での思い出は、式の最後に合唱する「仰げば尊し」。聞きながら今までの思いがよみがえり涙が出そうになります。先日娘の卒業式でも最後在校生、卒業生が歌い18年の月日の重みを実感し最後のいざ、さらば♪でぐつと胸にくるものが今も昔も変わりません。

今年3月、娘の中学校卒業式がありました。意外とニコニコ笑みの卒業生達。おかげで親ももらい泣きする暇がありませんでした(笑)

そして、式の後の校庭集合。その日の抜けるような青空みたいに、皆のキラキラ輝いた顔が眩しかったです。

専門学校の卒業式、式が終わったあとパーティードレスに着替えて謝恩会に行き、その後はクラス皆と担任の先生で居酒屋で打ち上げ! 凄く楽しかったのと同時に専門学校で県外に出た私は、4月からの就職で皆と離ればなれになるのが凄く寂しかった記憶があります。

私は高校のみんなが大好きでした。みんな仲良しでお別れが寂しくて、卒業式の予行練習のときから泣いてました。卒業式も終わって退場するとき、来るなんて聞いてなかったのに。。。お父さんが目にとまって、びっくりしすぎてさらに号泣してしまいました。今はたまにしか会ってないですが、ずっと変わらず大好きです。